

2023年12月20日(水)第三水曜祈祷会

箴言29章1～27節

『指導者と民の心得』

【観察と黙想】

1. 「指導者と民」(1～7節) *「うなじを固くする」…「強情な者」の意味。

①「叱責されても、なお、うなじを固くする」とは、だれに対することですか(1節)。

→

②王が国を建てるときには、何が大切だと教えていますか(4節)。

→

③「悪人」と「正しい人」の結末はどのように違いますか(6節)。

→

2. 「知恵のある者と愚かな者」(8～14節) *平和を造り出す者と問題を起こす者。

①「知恵のある者」が「愚かな者」を訴え争うことについて何と書いていますか(9節)。

→

②「愚かな者」と「知恵のある人」の違いから、何を教えていますか(11節)。

→

③「真実をもって弱い者をさばく王」とは、どういうことですか(14節)。

→

3. 「むちと叱責」(15～21節) *「むち」は、「懲らしめ」の一つの方法。

①「むちと叱責」について、箴言はどのように教えていますか(15節)。

→

②「幻がなければ、民は好き勝手にふるまう」とは、どういう意味ですか(18節)。

→

③「ついには手に負えない者になる」とは、どういうことですか(21節)。

→

4. 「高ぶりとへりくだり」(22～27節) *「自分自身を憎む」…自分自身を粗末にすること。

①高ぶりをなくし、へりくだった者になるには、どうしたらいいですか(23節)。

→

②「人を恐れる」「主に信頼する」とは、どういうことですか(25節)。

→

③「不正を行う者(悪しき者)」と「正しい人」の違いは何ですか(27節)。

→

【適用と分かち合い】